

## 公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス Colorful Kids Second				公表日	2025年3月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	・現状は適切である		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	・活動スペースの床はほとんど段差の無い構造になっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	・毎日使った玩具を含む部屋の隅々まで掃除・消毒を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・一人ひとりの子どもたちが落ち着ける室内空間を今後も工夫していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	・研修を行っている	・話し合いを繰り返し、より良い業務が出来るようにしていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	・保護者への自己評価アンケートは初めての為、日々の支援の中で積極的に行っている	・保護者評価を元に、今後もより良い業務改善に努めていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	・定期的にミーティングを行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・現在は第三者による外部評価は行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・定期的に研修を行っている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・アセスメントを元に個別計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・毎月カンファレンスをしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・毎月カンファレンスをしている	・指導員間で共通理解して支援が行えるように努めていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・利用者に合わせた支援を保護者や地域と協力し、行われている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・毎月カンファレンスをしている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・ニーズに合わせたプログラムを組んでいる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・流れや役割を指導員間で話し合うようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・毎日振り返りを行い、次の支援に繋げて行けるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・日報にその日の個々の様子を記録している	・何の為の記録なのか共通意識を持つ必要がある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・定期的に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・状況に応じ適任者が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・常に情報共有を心掛けている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	・現在、移行支援者はいない為、今後提供出来る体制を整えていく	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		・現状は助言を受けてる機会を設ける事が出来ていない為、助言を受ける機会を作っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		・機会を設ける為の時間確保が出来ていないので、今後は視野に入れていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	・時間の確保が出来ず、参加出来ていないので、参加出来る機会に参加する	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時、フィードバックを行い、共有する時間を設けている	・保護者と密な情報共有が出来るように心掛けていく
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		・更に、指導員間での共有を密に行い支援していく	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約の際、規約書等の説明を丁寧にやっている	・分かりやすい説明が出来るよう、内容をしっかりと把握し、説明していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・送迎時、保護者からの意向を共有する機会を設けている	・保護者と密な情報共有が出来るように心掛けていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・その都度、丁寧に説明している	・家族の理解しやすい個別支援計画書の作成・説明を行っていききたい

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・送迎時、電話・連絡帳など定期的に話せる機会を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		・機会を設ける為の時間確保が出来ていないので、今後は視野に入れていきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・鍵付きの書類棚に保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・定期的に様々な事案での避難訓練を実施している	・年1回見直しをしていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・定期的に様々な事案での避難訓練を実施している	・全指導員がマニュアルをきちんと把握し、素早い対応を心掛ける
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・指導員間での共有をしている	・全指導員が、緊急対応が出来るように研修を行っている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・指導員間での共有をしている	・食事提供の際は細心の注意を払い、確認した上で提供するようにしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・定期的に研修を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			・家族への周知が不十分な所もある為、しっかりと周知していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・起こった場合に細かく記入・作成し、全指導員で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・研修を実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・きちんと保護者に説明をした上で記載をしている		